

○ 平成7年の阪神・淡路大震災、平成16年の新潟県中越地震、平成23年の東日本大震災などにおいて、大規模に盛土造成された宅地で「滑動崩落」による被害が発生しました。これを受けて国土交通省では、盛土造成された宅地の安全性の確保を図ることを目的に、第一段階として各都道府県等に対し、大規模盛土造成地を把握し、その箇所を住民に公表することを求めています。

○ 奈良県では、1次調査として平成19年度及び26年度に県下全域(奈良市を除く)を対象に大規模盛土造成地分布調査を実施し、561箇所を抽出しました。大規模地震に備えて、県民の皆様は大規模盛土造成地の存在に関心を持っていただき、防災意識を高めることを目的に、その抽出結果をマップとして公表するものです。

※1 このマップは、旧地形図と現況地形図を重ね合わせて大規模盛土造成地の概ねの位置や規模を示すものであり、マップに示された箇所が地震発生時に必ずしも危険というものではありません。

※2 マップに示された箇所のうち、さらに詳細な調査が必要な箇所を、市町村と調整を図りながら選定し、2次調査を実施していきます。

## 1. 大規模盛土造成地について

### 1) 大規模盛土造成地の被害状況

比較的古い時代に盛土造成された宅地で地下水位が高い場合や盛土内に軟らかい部分がある場合に発生し、宅地に甚大な被害を及ぼしました。



平成7年1月17日発生  
阪神・淡路大震災  
被害戸数13戸



平成16年10月23日発生  
新潟県中越地震  
被害戸数109戸



平成23年3月11日発生  
東日本大震災  
被害地区 5県 182地区

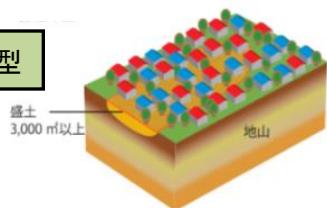
### 2) 大規模盛土造成地とは

大規模盛土造成地：大地震時に大きな被害が生じるおそれのある盛土造成地

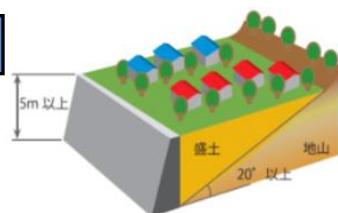
①盛土の面積が3,000㎡以上

②盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ盛土の高さが、5m以上

谷埋め型



腹付け型



### 3) 大規模盛土造成地の滑動崩落

滑動崩落：盛土と地山との境界等を滑り面とする地すべりの変動



## 2. 大規模盛土造成地のマップの公表

